

やつしろの子供の育ちと学びをつなぐ ～一体的な幼児教育推進体制の整備と架け橋期の円滑な接続をめざして～

八代市の幼児教育の現状

	公立	私立	計
幼稚園	6	2	8
保育所	8	43	51
認定こども園	0	5	5
地域型保育事業所	0	3	3
計	14	53	67

八代市の幼児教育の課題

- ・近隣の園や小学校の取組が見えにくい。
- ・情報交換会等の時間の確保が難しい。
- ・スタートカリキュラムについて、幼・保等と十分に共有することができていない。 など



上記の現状や課題を踏まえ、「八代市の一体的な幼児教育推進体制の整備と架け橋期の教育の充実により、幼児教育の質向上を図ること」を目標として、以下のとおり研究の内容を設定した。

【研究の内容】

- 1 幼児教育施設合同研修体制の構築
- 2 幼児教育アドバイザーの委嘱、派遣、活用
- 3 幼保小連携・接続のための架け橋期のカリキュラム作成、実施、検証

1 幼児教育施設合同研修体制の構築について

（1）研究の実際

- ・本市主催で小学校、幼稚園、保育所、認定こども園等による合同研修会を、令和5年度に2回、令和6年度に1回開催した。
- ・主な研修内容としては、幼児教育アドバイザーからの講話、幼保小接続に関する協議、架け橋期のカリキュラム作成についての演習等を実施した。



（2）研究の成果（本事業に関するアンケート結果から）

- 小学校や幼児教育施設合同の研修は、各学校・園の教育・保育において、効果的だと思いますか。



【各学校・園から】

小学校や幼児教育施設合同の研修会は、互いの意識や教育・保育の共有ができ、効果的であると思う。また、先生方と顔見知りになることで、コミュニケーションもとれるようになると思う。

【今後の方向性】 年2回以上の合同研修体制(県主催を含め)を維持していく。

2 幼児教育アドバイザーの委嘱、派遣、活用

(1) 研究の実際

熊本県幼児教育アドバイザー（スーパーバイザー）を八代市幼児教育アドバイザーとして委嘱し、各学校・園へ派遣した。

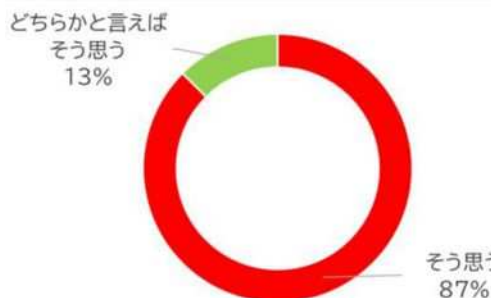
＜主な支援の内容＞

- | | |
|-----------------|--------------|
| ア 保育参観による助言等 | イ 園内研修の助言等 |
| ウ 幼・保等小中連携・接続支援 | エ 保護者会等の支援 等 |



(2) 研究の成果

- アドバイザーの派遣・活用は、各学校・園の教育・保育において、効果的だと思いますか。



【各学校・園から】

- ・アドバイザーの温かい助言が、保育士自身の気付きにつながると思う。
- ・保護者への講話や園内研修を通して、現在の園の取組を振り返ることができ、これからの方向性が見えてきた。

【今後の方向性】引き続き、熊本県幼児教育アドバイザーの活用を図るとともに、幼児教育アドバイザー育成研修受講修了者の活用も検討していく。

3 幼保小連携・接続のための架け橋期のカリキュラム作成、実施、検証

(1) 研究の実際

本市では、以下のとおりカリキュラムの作成を進めた。

- ①一つの小学校区をモデル校区として設定した。
- ②モデル校区の小学校、幼稚園、保育所等による開発会議を計3回開催し、カリキュラム（例）を作成した。
- ③作成したカリキュラム（例）について、本市主催の合同研修会にて周知するとともに、各学校・園に下の様式（例）を情報提供した。



(2) 研究の成果

- 架け橋期のカリキュラムの作成は、子供の育ちや学びをつなぐ上で、効果的だと思いますか。



架け橋期のカリキュラム（例）	
期 間	5 歳 児 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 小 学 1 年 生 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
	【小中一貫・連携教育】における目指す児童生徒像 ・将来に目を向け、自ら学びとする児童生徒 ・夢の多い、誇り高い、思いやる児童生徒 ・心豊かな児童生徒
① 期待する学習像	（1）健康な心と体 （2）自信心 （3）協同性 （4）読解力・情報処理能力 （5）社会生活との関わり （6）思考力の習得 （7）自然との関わり・生き生き （8）数量や図形、時間や文字などへの関心・態度 （9）言葉による伝え合い （10）豊かな感性と表現
② 遊びや学びの目標	幼稚園において期待する学習像 ・心豊かな子供 ・思いやる子供 ・つながる子供 小学校において期待する学習像 ・つながる子供 ・思いやる子供 ・つながる子供
③ 園で展開される活動（小学校の生活科を中心とした活動）	・生活科の学習 ・国語科の学習 ・算数科の学習 ・理科科の学習 ・社会科の学習 ・体育科の学習 ・音楽科の学習 ・美術科の学習 ・外国語科の学習 ・総合的な学習の時間
④ 指導上の配慮事項（環境の確保、教員の役割等）	○主体的な学びができるような環境の確保 ○一人一人の成長を「認め、ほめる、励まし、伸ばす」姿勢 ○児童の学習活動を支援し、学びの意欲を高める ○児童の学習活動を支援し、学びの意欲を高める ○児童の学習活動を支援し、学びの意欲を高める
⑤ 子供の交流	○年少児との交流 ○児童間の交流 ○小学校との交流 ○児童間の交流 ○小学校との交流
⑥ 家庭や地域との連携	○年少児との交流 ○児童間の交流 ○小学校との交流 ○児童間の交流 ○小学校との交流

【今後の方向性】更に活用しやすいカリキュラムとなるよう、工夫改善を図っていく。

＜問合せ先＞ 八代市教育委員会学校教育課
八代市健康福祉部こども未来課

Tel 0965-33-6133
Tel 0965-33-8721